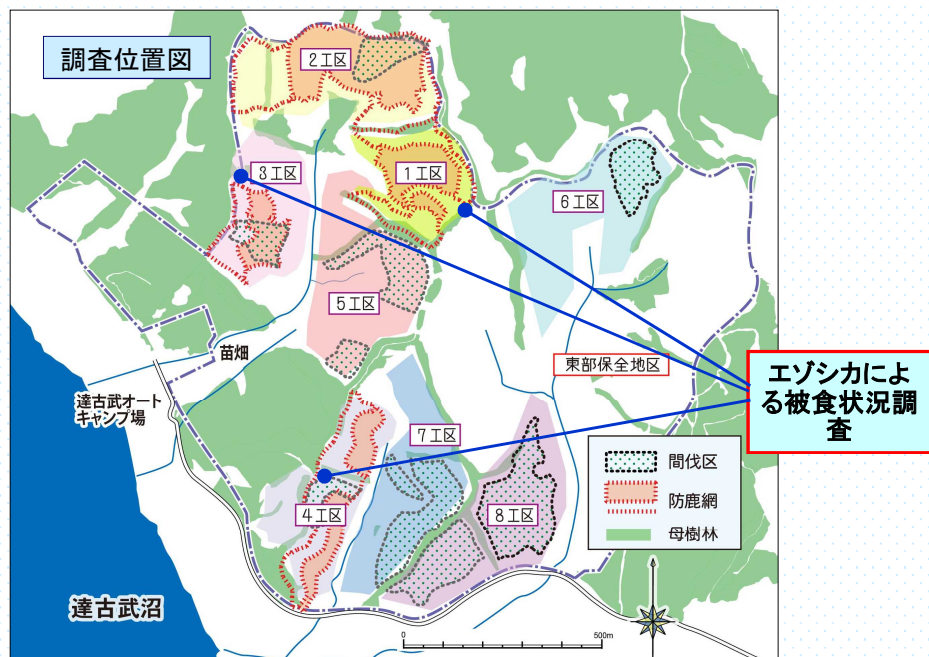


資料1参考

平成28年度(2016年)の達古武地域自然再生事業について(抜粋)

環境省釧路自然環境事務所



今年度の調査結果速報・稚樹調査

エゾシカによる稚樹の被食状況①

調査目的

- シカ捕獲の効果検証、柵外での被食増加の検証

対象手法

- 6エリアで柵外に生育する稚樹183本を調査。枯死した場合は新規追加。

調査稚樹

樹種	本数
アオダモ	45
サワシバ	36
オオモミジ	17
イタヤカエデ	15
ミズナラ	12
ヤチダモ	12
ミヤマザクラ	10
総計	183



調査ライン



アオダモ食痕

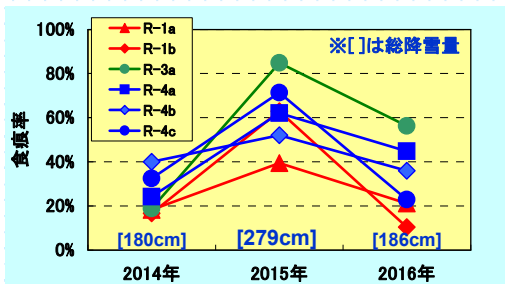


ミズキ食痕

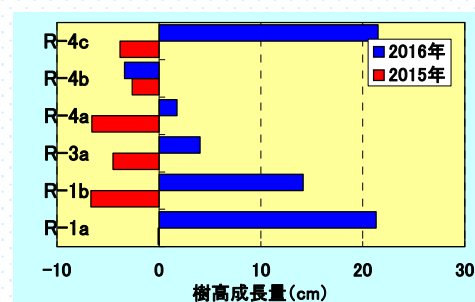
今年度の調査結果速報・稚樹調査

エゾシカによる稚樹の被食状況②

新規食痕の割合



平均樹高成長量



調査結果

- 食痕割合は昨年よりも減少。昨年より積雪少なく、被食されにくい状況
- 食痕は春以降のものが多く。
- 被食減少などにより樹高増加に転じる。

方針

- 稚樹への影響は、シカの捕獲だけでなく積雪も影響
- 今後の推移を追跡する